

(2)高等学校における各教科・科目で進めるキャリア教育  
 ～「各学科に共通する各教科」を事例として～

# 各教科・科目で進めるキャリア教育

「各学科に共通する各教科」を事例として

## 各教科・科目の学習を将来の生活と結び付ける

高等学校教育の目標には、社会の形成者として必要な資質を養うことや、社会において果たさなければならない使命の自覚を促すことなど、キャリア教育が目指す社会的自立に向けて必要となる能力等の育成が示されています。それぞれの教科・科目で、学習と現在及び将来の生活を結び付けて、学ぶ意義を理解させ、学ぶ意欲を高めるようキャリア教育に取り組むことが大切です。



### 各教科・科目におけるキャリア教育のポイント

**Point 1** その教科・科目で学んでいる内容が活用されている場面を伝える

- 例
- 日常生活(文化的な生活・健康的な生活・市民生活など)での活用
  - 職業生活での活用
  - 科学技術など、より広範な社会での活用

**Point 2** その教科・科目を学ぶ面白さ・楽しさを伝える

**Point 3** その教科・科目を学ぶことによって培われる能力・態度とそれらの意義を伝える

#### 国語

話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの言語活動を通して、言葉で伝え合う力を高めるとともに、思考力や想像力を伸ばし、心情を豊かにし、言語文化への関心を深め、国語を尊重しその向上を図る態度を育てる。



#### 理科

自然の事物・現象に対する関心や探究心を高め、目的意識をもって観察・実験を行うことや、科学的な自然観を育成することによって、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度や真理を探究する態度を育てる。



#### 保健体育

運動の実践を通して、公正、協力、責任、参画への意欲を育てるとともに、健康・安全について理解することを通して、健康の大切さを知り、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し改善する資質や能力を育てる。



#### 芸術

芸術を愛好する心情を育てるとともに、表現と鑑賞の能力を伸ばし、芸術文化についての理解を深めることによって、生涯を通じて、芸術と生活や社会とのかかわりを考える態度を育てる。



●例えば「国語総合」では

#### 学習指導要領との関連

「国語総合」は、総合的な言語能力を育成する科目として、各教科・科目等の言語活動の充実に資する国語の能力、社会人として生活するために必要な国語の能力の基礎を身に付けることをねらいとしている。



現代社会においては、物事を的確に理解し判断する力、論理的に思考し表現する力、創造する力などを身に付けるとともに、我々の先人が築き上げてきた伝統と文化を尊重し、豊かな感性や情緒を備え、幅広い知識や教養をもつことが求められています。国語は、これらの様々な能力や心情などと大きくかかわり、自己の形成や相互の交流、社会的、文化的な活動の基盤となるものです。

そこで、「国語総合」においては、小学校及び中学校国語の内容を発展させ、話す・聞く能力、書く能力、読む能力などを偏りなく育成することや読書に親しむ態度を育成することなどをねらいとしています。中でも、実生活で生きてはたらく国語の能力を身に付けるため、実用的な文章を読んで話し合う学習活動や、文章や図表などを引用して説明や意見を書く学習活動などを言語活動例として示し、実践的な指導が行われるようにしています。

#### 授業の工夫例

- 実地調査で得た情報を分類・整理し、多角的に分析・考察して、出典や拠所を示しながら報告や発表をする。
- 自分の所属する学科紹介など、プレゼンテーションで用いるシートを、話の構成や展開を考えながら作成する。
- 生徒会活動をよりよいものにするための提案を、A4判1枚程度の提案書にまとめる。
- 小説教材を脚本にしたり、古典の物語を現代の物語に書き換えたりする。
- 同じ事件についての新聞記事と裁判の記録とを読み比べ、与える印象など、新聞記事と記録の文章との違いについて話し合う。